



編集・発行
君津中央病院
☎0438(36)1071

クローバー Clover

2025.Sep. **vol.78**

リハビリテーション科



味覚チェック

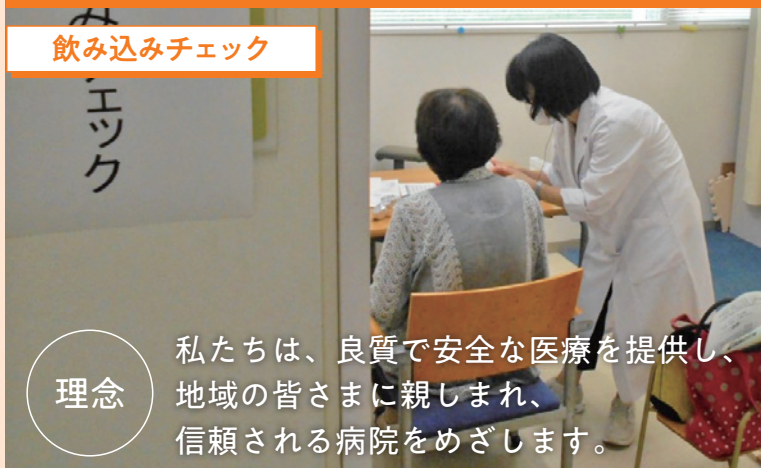


きみフェス!! 2025開催します!

詳しくはこちら▶



飲み込みチェック



看護協会



理念

私たちは、良質で安全な医療を提供し、
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。

基本方針

- 1 患者さんの権利と尊厳を尊重し、患者さん中心の医療を推進します。
- 2 患者さんに信頼される質の高い医療を提供します。
- 3 地域の中核病院として、高度専門医療、救急医療、小児・周産期医療、災害医療および感染症医療を提供します。
- 4 地域連携を推進し、必要とされる医療を提供することで、地域・社会へ貢献します。
- 5 職員の教育・研修を推進するとともに、次世代を担う医療人を育成します。
- 6 チーム医療を推進し、経営の健全化と明るく働きがいのある職場をめざします。

目次

医務局 腎臓内科	1
看護局 5階東病棟	2
医療技術局 臨床検査科	3
医療安全部	4
患者総合支援センター	5
君津中央病院附属看護学校	6
インフォメーション	7



認定第 JC295-5 号
一般病院 2
(3rdG:Ver.3.0)
2024.8.23 ~
2029.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が適切で質の高い医療を安心して享受できるよう、医療機関の機能を学術的観点から評価する第三者機関です

腎臓内科って何？

腎臓内科はあまり聞き慣れない診療科だとは思いますが、近年クローズアップされている「慢性腎臓病（CKD）」ならば耳にしたことがあるかもしれません。当科はCKDを始めとした、健康診断などで指摘された尿潜血や蛋白尿などの尿検査異常や腎機能障害などを診断、治療する診療科です。

CKDは多くの国民が罹患している新たな国民病とも言われています。推計では日本人の5人に1人がCKDに罹患していると言われています。多くの場合、かなり進行したCKDでないと症状が現れないため健診による腎臓病のチェックが非常に重要です。またCKDを放置していると腎不全となり透析が必要となるだけでなく、脳卒中や心臓病といった病気にもなりやすくなるため、早めの診断、治療が必要です。

健康診断での尿検査異常や腎機能障害があり当科に紹介受診された場合、その原因が何か、血液検査や尿検査、腹部超音波・CT検査などによって診断します。腎臓自身の病気が疑われる場合には診断のために腎生検という検査を行い、治療法を検討します。以前は腎臓が悪くなったら治らないと言われていました。しかし腎臓の病気によっては治癒することも可能であり、また治らない病気であっても腎不全（透析など）への進行を遅らせることのできる薬剤なども開発されています。

す。また薬の治療の他、食事、生活習慣の改善なども重要で、管理栄養士や看護師からも指導を行います。多くのCKDは高血圧や糖尿病といった生活習慣病によって発症、悪化することも多く、かかりつけの先生との連携が不可欠です。そのため当科といっしょに診療にあたる、いわゆる「二人主治医制」を行っています。

それでも残念ながら腎機能障害が進行し腎不全となった際には透析を始めとした腎代替療法が必要となります。血液浄化療法室では血液透析を中心に診療を行っています。当院では腎臓内科と血液浄化療法室が一体となっており、医師のみならず看護師も同じスタッフが担当しますので、CKDから透析に至るまで一貫して対応でき、患者さんに対しても安心して透析医療を受けることができる体制が強みとなっています。

その他、CKD以外にも急激に腎臓機能が悪化する急性腎障害の診断・治療や、一部の免疫病などに対する血漿交換療法も行なっています。

CKDとなっても早期診断、治療によって病気の進行を食い止め、透析にならずにすむ可能性があります。尿検査異常や腎機能障害を放置せず、かかりつけの先生から腎臓内科への受診を勧められたら速やかに受診されることをお勧めします。

（腎臓内科 相澤 昌史）

公表について

〈情報公開制度の実施状況の公表〉 令和6年度 企業団が保有する行政文書の開示等の実施状況

開示請求	開示決定	部分開示決定	不開示決定
1 件	0 件	1 件	0 件

〈個人情報保護制度の運用状況の公表〉 令和6年度 企業団が保有する個人情報の開示等の運用状況

開示請求	開示決定	部分開示決定	不開示決定
120 件	120 件	0 件	0 件

看護局 5階東病棟

病棟のご紹介

5階東産科病棟は、リスクの有無に関わらず、当院で出産を希望される全ての妊婦さんを受け入れていきます。また、地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や出産など医療的な支援が必要な方への対応が可能な体制も整えており、安心して出産できる場所として、地域の皆さまに幅広くご利用いただいています。

産科病棟には、産婦人科医師8名、専門的な知識と経験が一定水準に達していると認定されたアドバンス助産師12名を含む経験豊富なスタッフが24時間体制で対応しています。妊婦さん、一人一人の思いに寄り添いながら、きめ細やかなケアを提供しています。

出産前から出産後まで切れ目のない支援を大切にしており、妊娠各期に個別相談・マタニティクラスを行い、妊娠中の過ごし方や出産に向けた準備などを一緒に考えながら、安心して出産の日を迎えられるようサポートしています。お産後は、出産直後の赤ちゃんの写真と、産声アルバム、ダイアリー、臍の緒をプレゼントしており、特に産声アルバムは喜ばれています。

産後は、母乳相談、産後2週間健診、1ヶ月健診などを通して、お母さんが安心して子育てを続けられるようサポートしています。育児中の不安や心配事も気軽に相談いただける体制をとっています。



さらに、当院には新生児科が併設されており、早産や小さく産まれた赤ちゃん、双子など専門的な医療が必要な赤ちゃんにもすぐに新生児科医師が対応できるよう、万全の連携体制を整えています。赤ちゃんの様子に応じて出生直後から適切なケアを受けられることは、お母さんやご家族にとっての大きな安心材料となっています。

妊娠・出産・育児は人生の中でも特別な時間です。その大切なひとときを、安全に、そして心温かく過ごせるようにスタッフ一同力を合わせてお手伝いします。これからも地域の皆さまに信頼される産科病棟を目指して取り組んでまいります。

(5階東病棟 井上 智子)

職 員 採 用 情 報

一緒に働く仲間を募集しています。

募集人数、勤務時間、処遇等については、病院ホームページ又は人事課までお問合せください。

《応募方法》履歴書(写真貼付)、免許証の写し(有資格者のみ)を下記宛に郵送してください。

〒292-8535 木更津市桜井1010番地

君津中央病院事務局人事課採用担当 宛

電話番号 0438-36-1071(代表)



↑採用情報ページ↑

採血室編

採血が苦手！痛い！嫌だ！

??

採血に対してどんな印象をお持ちでしょうか？

「痛い」「血を見るのが苦手」「何回も刺される」などネガティブなイメージでしょうか。中には「採血大好き」という方はいるのでしょうか。

採血は腎機能、肝機能、心機能など身体の状態を知るのにとっても大事

ネガティブなイメージを
払拭することにはしましょう!!



★緊張していたり、血管が見えにくかったりすると、血液が採りにくいことがあります。

採血台にすわったらスタッフと会話してリラックス♪

・脱水などによる水分不足 ↓ 食事制限があれば水分補給しましょう
・気温が寒い日 ↓ カイロなどで防寒対策を

★痛みに対する対策

採血するときは翼状針と呼ばれる針を使用しています。翼状針は刺す際の痛みや不快感を軽減できるといわれています。針を刺した後は痛みを感じることはありません。もし痛みや違和感がある場合、遠慮せず看護師に伝えてください。

★採血管がたくさんある

検査項目や種類により採血管の種類、本数が増えることがあります。

★止血

抜針後5分間程度、穿刺部位を圧迫してください。

しっかり止血しないと流血や採血後の青あざの原因となります。

私たちは標準採血法ガイドラインにそった安全な採血を行うよう努めています。

(臨床検査科 岩間 暁子)



医療安全部

医療安全部の取組

君津中央病院は患者さんに安心して安全な医療を受けていただけるように日々努力しています。患者さんはもちろん、病院で働くスタッフも医療事故から守るための活動をしているところが医療安全部です。

同部は病院長直属の組織で、組織横断的な活動を行うために、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・臨床工学技士・事務職員で構成されています。当院の医療安全活動の基本姿勢は「人は誰でも間違える」を念頭におき、医療事故をおこした個人や部署の判断や行動を客観的に調査・分析を行い、医療事故を発生させた安全管理システムの不備を追求していくことを主眼としています。システムの改善を積み重ねることにより医療事故が未然に防がれ、結果として安全な医療サービスが提供でき、また医療の質の向上につながると考えています。

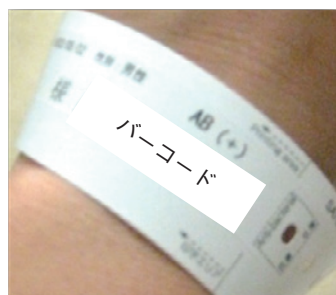
主な活動

- インシデント報告制度：事故が起こる前に気づき「ヒヤリ、ハット」した軽いレベルからいわゆる医療事故のレベルまですべて報告してもらっています。
- 部会：報告事例の把握・分析・改善策の検討・評価を行います(週1回)。また医療安全マニュアルを適宜改訂しています。
- 医療安全ラウンド：医療安全の視点で各部署の状況を確認しています(週1回)。
- 症例検討会：報告された事例によっては、多くの院内職員を集めて意見交換を行い、再発予防策を検討し院内周知する活動を行っています。
- 院内医療安全研修の実施、医療安全ニュースの発行、医療安全情報の配信
- 医療安全委員会(月1回)、リスクマネージャー委員会(年2回)の開催

院内掲示ポスター



入院中はネームバンドを装着していただき、バーコードリーダーで本人確認を行います。



安全でより良い医療を受けてもらうために、患者さんやご家族にも医療者の一員として医療チームへの参加とご協力をお願いしています。これは「参加型医療」と呼ばれています。その一例として、患者さんの本人確認のために検査、点滴、内服や治療等一日の中で何度も名前を名乗っていたいただいています。自分の病気や投与薬を正しく理解すること、これまでの病歴やアレルギー歴などを正しく伝えていただくことも大切です。また転倒予防のためにサンダルではなく靴タイプのはきものの療養生活をお願いしています。私たちはわかりやすい説明を心がけていますが、疑問や不安があったら伝えていただくことも、安全な医療を受けるようにご協力をお願いいたします。

●医療ソーシャルワーカーが担う

「入院時重症患者対応メディエーター」の役割

医療ソーシャルワーカーが当院の救急集中治療病棟に入院された患者さんご家族に対し、治療方針に納得していただけるよう、また、意向を表明していただけるように支援する「入院時重症患者対応メディエーター」の取組を令和5年から開始しています。

今回は、医療ソーシャルワーカーが担う「入院時重症患者対応メディエーター」の役割についてご紹介します。

ご家族のどなたかが突然の病気や事故により医療機関へ搬送され、あわてて病院へ駆けつけた方のことを想像してください。その上、深刻な病状で、患者さんと意思の疎通ができない場合、残されたご家族は、無力感や恐怖、悲しみなど様々な思いが湧いてくることがあると思います。

そのような状態で、医師から聞ききれない専門用語で病状説明を受けたとしても、冷静にその内容を理解するのは容易なことではありません。

入院時重症患者対応メディエーターは、そのような状況に置かれたご家族に寄り添い、担当医療スタッフとの間に入り治療方針の理解を深めるサポートを行います。

具体的には

○救急集中治療病棟への入院が必要となった場合、医師から患者さんご家族への病状説明の際に同席させていただき、治療方針の理解や質問のサポートを行っています。

○医師からの病状説明後に、患者さんご家族と入院時重症患者対応メディエーターが面談を行い、説明中に聞けなかったことや分からなかったことなどを確認し、医師や看護師などと情報を共有することで、ご家族と担当医療スタッフとの情報の橋渡しを行います。

○患者さんご家族の思いを聴くことで、心の準備がなくなってきた突然の衝撃に対しての混乱や不安な気持ちを受け止め、少しでもそれらの気持ちを和らげることに努めています。

相談をご希望の方は、救急集中治療病棟のスタッフにお声掛けください。

（患者総合支援センター 保坂 真紀）

がんサロン開催のお知らせ

がん患者さんやご家族が病気の悩みや体験を語り合うサロンを開催しています。治療に関する情報交換や日々の生活での悩みや不安を共有し、前向きに生きていくためのサポートを行っています。お気軽にお越しください。

日時	令和7年9月19日(金)、10月17日(金)、11月21日(金) 毎月第3金曜日 14時30分から16時まで
場所	4階 講堂1 *予約は必要ありません。費用無料です。
お問合せ先	電話 0438-36-1071(代) 担当：がん相談支援センター

地域医療の未来を担う

看護学生募集

看護学校 HP



丁寧な学習支援

1 クラス 30 名の少人数制で、きめ細やかな看護教育を行っています。個々に合わせた指導を実施し、国家試験合格へと導きます。

現場に近い学び

学校から徒歩5分の距離にある君津中央病院でほとんどの実習を行います。急性期から緩和ケアまで幅広い臨床現場を体験できます。

負担の少ない学費

学費の負担が少なく安心して勉学に励むことができます。また、併せて各種奨学金や修学支援制度が利用可能です。



君津中央病院附属看護学校

9月27日(土) 13:00▶16:30

会場 君津中央病院(2階・4階)

参加費無料
申込不要

きみフェス!! 2025

認知症の予防

～小さなことから始めよう～



↑詳しくはこちら↑

<p>講演会</p> <p>4階講堂 15:00～16:20</p> <p>第1部. 認知症を予防する暮らし方 ～生きがい・役割を持つ大切さ～ 講師: 浦部 智章 先生 (訪問看護ステーション花くじら 作業療法士) 15:00～15:30</p> <p>第2部. 認知症と難聴 講師: 関田 恭子 先生 (君津中央病院 耳鼻いんこう科 医師) 15:40～16:20</p>	<p>各種ブース</p> <p>●生活支援サポートブース</p> <p>●がん・災害リハに関するブース がん診療連携拠点病院についての紹介 災害リハビリテーションの紹介</p>						
<p>健康測定</p> <p>2階リハビリ室 13:00～15:00</p> <p>●専門職による健康チェック</p> <table border="0"> <tr> <td>●簡易認知機能チェック</td> <td>●血管年齢チェック</td> </tr> <tr> <td>●飲み込みチェック</td> <td>●筋力チェック</td> </tr> <tr> <td>●聞こえのチェック</td> <td>●味覚チェック</td> </tr> </table>	●簡易認知機能チェック	●血管年齢チェック	●飲み込みチェック	●筋力チェック	●聞こえのチェック	●味覚チェック	<p>参加者プレゼント</p> <p>●健康チェック手帳 毎年の健康チェックの記録に最適! ※前回参加の方は手帳をお持ちください</p>
●簡易認知機能チェック	●血管年齢チェック						
●飲み込みチェック	●筋力チェック						
●聞こえのチェック	●味覚チェック						

お問合せ先: 君津中央病院 リハビリテーション科 下田 ☎0438-36-1071(代)

Topics

4階コンビニエンスストアがオープンしました

旧レストランの閉店後、利用者の皆さまには長らくご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。2025年7月22日、病院4階フロア、旧レストランの跡地にコンビニエンスストア(ローソン)が開店しました。

また、旧売店のエリアは、イートインコーナーとして開放しておりますので、コンビニでお買い上げいただいた商品等の飲食にご利用ください。

営業時間 平日: 7:30～21:00
土日祝: 8:00～19:00

